

# 第1次那須塩原市総合計画

平成19年度(2007年度) → 平成28年度(2016年度)

概要版

大好き那須塩原  
未来への約束

那須塩原市

## はじめに



平成 17 年 1 月 1 日、旧黒磯市、旧西那須野町、旧塩原町が合併し、「人と自然がふれあう やすらぎのまち那須塩原」を将来像とする新市、那須塩原市が誕生しました。

急速に進む少子高齢社会、さらには自治能力の一層の向上が求められる地方分権時代の到来に対応できる自治体の確立を目指した 3 市町の合併であり、多くの市民の皆さんが、より効率的な行政財政運営のもとで、魅力あるまちづくりに大きな期待を寄せています。

このような中で、平成 17 年度、18 年度の 2 ヶ年度をかけ、新生那須塩原市の今後 10 年間のまちづくりの方向性を示す総合計画の策定に取り組んでまいりました。

この策定に当たりましては、特に、合併協議会において作成された新市建設計画を踏まえた計画とすること。さらに、まちづくりの主役である市民の視点に立ち、成果指標の設定などを行いながら、わかりやすく実効性のある計画とすることに留意し作業を進めてきました。

また、当然のことではありますが、より多くの市民の皆さんの意見、提言を計画に反映する必要があるため、1 万人を対象とした市民アンケートの実施のほか、地域説明会や各種団体との意見交換会の開催、さらには中学生による次世代まちづくりワークショップやパブリックコメントなどを行ってきたところであります。

そしてこの度、市民 30 人で構成する総合計画審議会での 9 回にわたる審議を経て、「市民との協働によるまちづくり」「効果的・効率的な行財政運営による自立したまちづくり」「安全に、安心して暮らせるまちづくり」「個性が輝くまちづくり」の 4 つを基本理念とし、将来都市像は新市建設計画を踏襲して「人と自然がふれあう やすらぎのまち那須塩原」と定めた総合計画をまとめることができました。

私は、この総合計画～大好き那須塩原 未来への約束～を着実に推進し、11 万 5 千市民が元気に安心して暮らし、そして将来に夢と希望が持てる那須塩原市を築いてまいりたいと考えておりますので、市民の皆さまにも、まちづくりへの積極的な参画をお願い申し上げます。

平成 19 年 3 月  
那須塩原市長 栗川 仁

## 目次 CONTENTS

### 序 論

策定の趣旨.....	1
計画の役割.....	1
計画の構成と期間.....	1

### 基本構想

1 市の特性.....	2
2 時代の潮流.....	2
3 10年後のわたしたちのまち.....	2
4 土地利用.....	3
5 まちづくりの基本理念.....	4
6 那須塩原市の将来像.....	4

7 まちづくりの大綱.....	5
8 計画の推進に向けて.....	6

### 基本計画

財政フレーム.....	7
自然と共生するまちづくり.....	8
快適で潤いのあるまちづくり.....	10
健やかに安心して暮らせるまちづくり... ..	12
安全で便利なまちづくり.....	14
活力を創出するまちづくり.....	16
豊かな心と文化を育むまちづくり.....	18
創意と協働によるまちづくり.....	20

# 序 論

## I 策定の趣旨

我が国は今、人口減少時代の到来や少子高齢化の進展、深刻化する環境問題や急速に進む高度情報化社会、さらにはグローバル化する経済活動や官から民へ、国から地方への構造改革など、大きなうねりの中で変革の時期を迎えています。

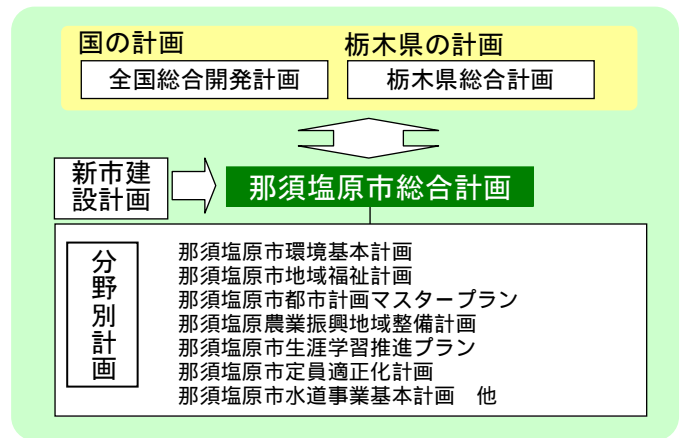
本市は、こうした変革の時代に対応できる自治体を確立するため、平成 17 年 1 月 1 日に当時の黒磯市と西那須野町、塩原町が合併して誕生しました。

那須塩原市総合計画は、今後厳しさを増す財政予測の下で、本市が合併効果を活かしながら推進する、市民福祉の維持向上と効率的な行政経営の長期的かつ総合的な指針として、まちづくりの主役である市民の視点に立ち、分かりやすく実効性のある計画となることに配慮し策定しました。

## II 計画の役割

総合計画は、本市の将来像の実現に向けたこれから 10 年間のまちづくりの方向性を示す「羅針盤」となるもので、本市の各部門における各種計画や施策は、この計画に基づいて実施されます。

また、この総合計画は、市民と行政が協働でまちづくりに取り組むための指針としての役割も併せ持っています。



## III 計画の構成と期間

総合計画は、基本構想と基本計画、実施計画により構成します。

**基本構想** 本市のまちづくりの基本理念と将来像を定め、その実現に向けた施策の大綱を示すもの。

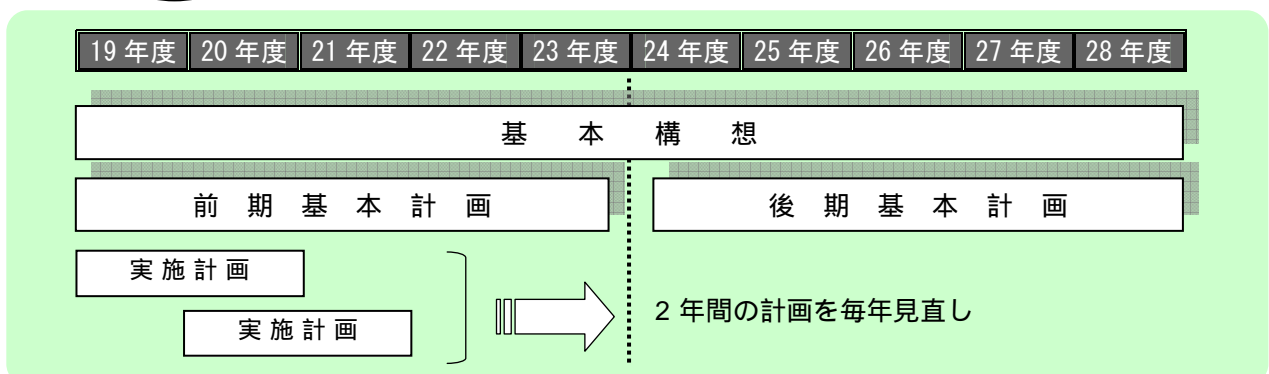
**期間** 平成 19 年(2007 年)を基準年次とし、10 年後の平成 28 年(2016 年)を目標年次とします。

**基本計画** 基本構想に掲げた将来像を実現するための主要な施策の方向性を総合的、体系的に示すもの。

**期間** 時代の変化に柔軟に対応するために、基本構想の期間を前期と後期に分けて設定します。前期は平成 23 年(2011 年)、後期は平成 28 年(2016 年)を目標年次とします。

**実施計画** 基本計画に示した主要事業の具体的な事業量、スケジュールなどを明らかにしたもの。

**期間** 計画期間は、2 年間で毎年見直しを行うローリング方式を採用します。



# 基本構想

## 1 市の特性

- (1) 豊かな自然と良好な地理的条件  
豊かな自然環境  
国土幹線軸上の交通の要衝地
- (2) 多彩な産業の立地  
首都圏への食料供給基地  
栃木県北最大の商業圏域  
産業を活性化し雇用を創出する工業  
恵まれた自然を活かした観光
- (3) 開拓の歴史と増加する人口  
開拓の歴史と精神  
人口増加を続けてきた若いまち

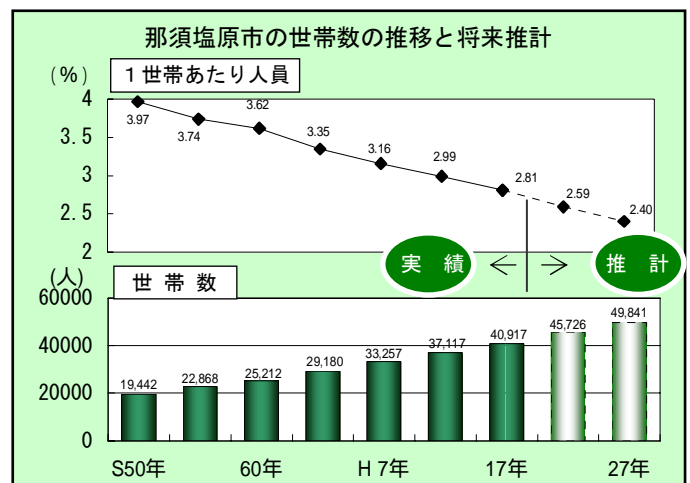
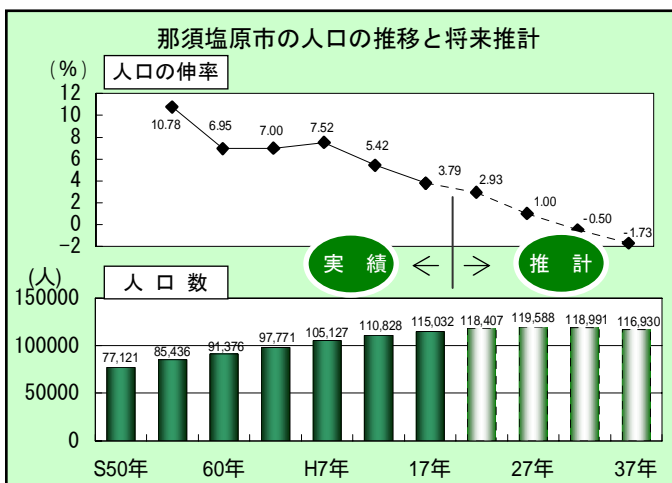
## 2 時代の潮流

- (1) 人口減少時代の到来と少子高齢化の進展
- (2) 国際化の進展
- (3) 高度情報化社会の到来
- (4) 循環型社会への転換
- (5) 市民ニーズの多様化
- (6) 地方分権の推進
- (7) 行財政改革の推進

## 3 10年後のわたしたちのまち

本市の総人口は、平成27年(2015年)の11万9千人をピークに減少に転じることが予測されます。世帯数は、平成22年(2010年)には約4万6千世帯、平成27年(2015年)には約5万世帯まで増加することが見込まれます。

平成27年の市の推計人口は約11万9千人、世帯数は約5万世帯



潜竜峡

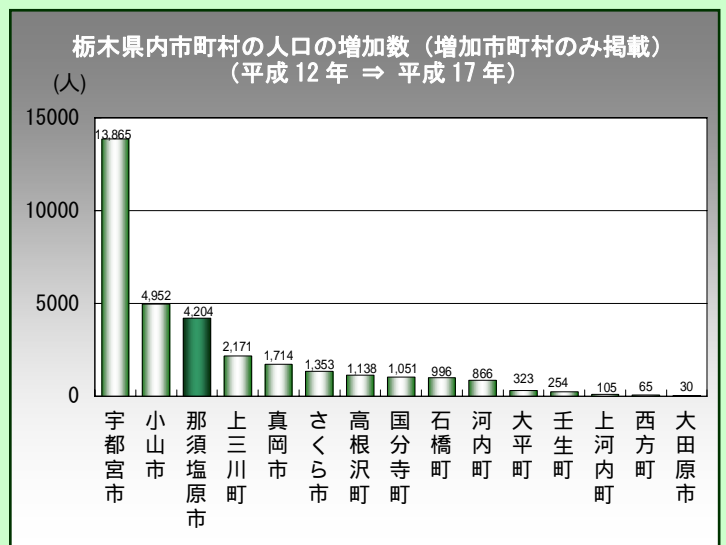
那須塩原駅



国道4号線 三島交差点付近



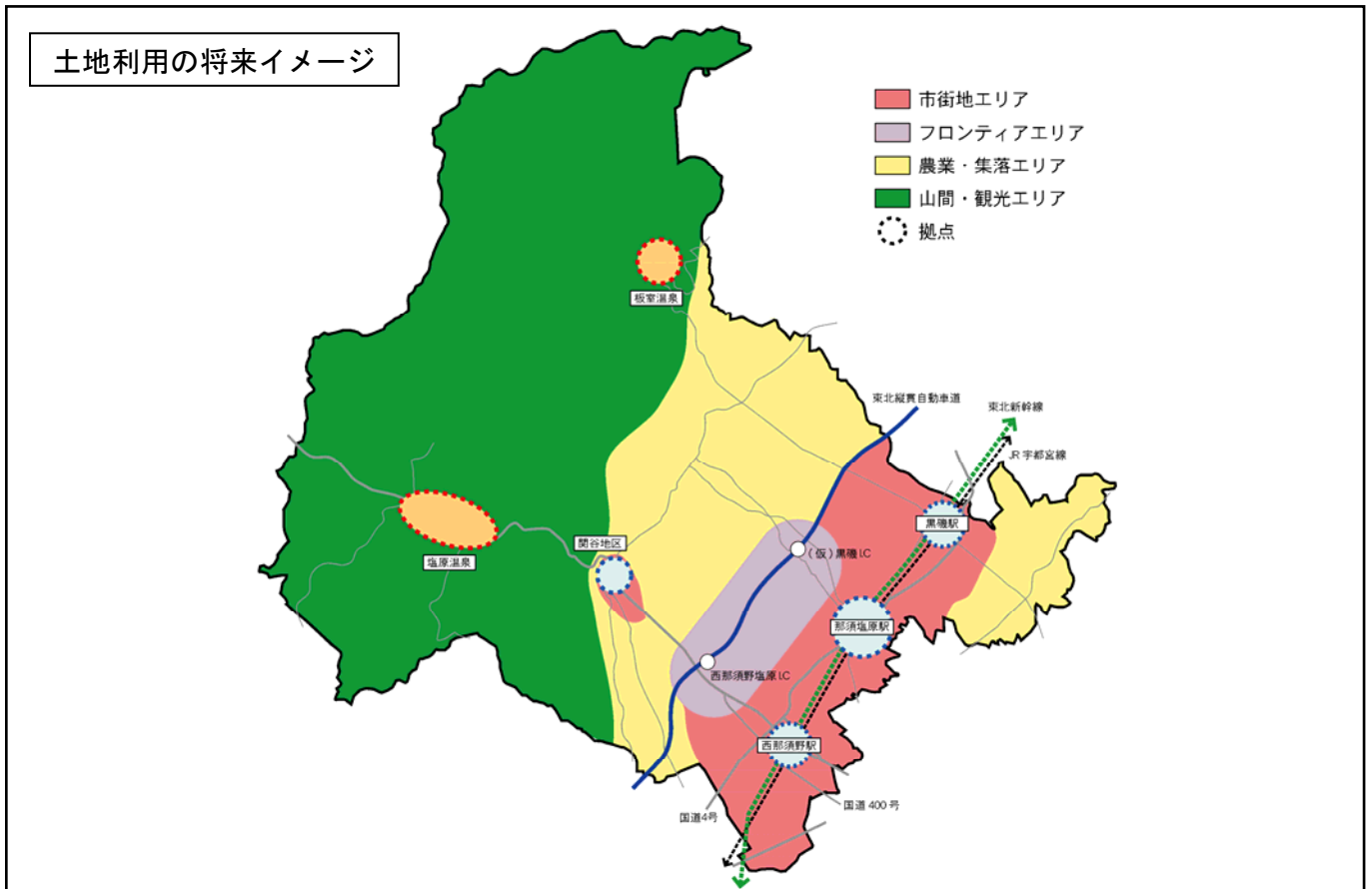
塩原温泉 不動の湯



## 4 土地利用

本市は、豊かな森林資源や観光資源を有する山間部と那須野ヶ原の大地が広がる平野部に大別されます。限られた資源である土地は、市民生活や生産活動の基盤となるものであり、恵まれた自然環境や景観は那須塩原市を象徴する財産です。

本市の土地利用にあたっては、周辺の環境や景観との調和を基調としながら、計画的な保全と活用、規制と誘導を図り、産業や文化などの地域の特性に応じた活力とやすらぎのあるまちづくりを推進します。



### 市街地エリア

東北新幹線とJR宇都宮線、国道4号の国土幹線交通軸沿いに多くの人々が住み、商業や工業などの中心的な活動の場となるエリアです。

JR線の駅周辺を市街地拠点として、様々なニーズに対応した利便性の高い住宅地や魅力と活力のある商業地、周辺環境と調和した工業地など、それぞれの機能が立地しやすい環境の整備を進めます。

### フロンティアエリア

開設予定の(仮称)黒磯インターチェンジや国会等の移転候補地を有し、新たな機能を受け止めるエリアとして、自然との共生に配慮しながら適切な誘導を図ります。

また、インターチェンジの周辺では、那須野ヶ原の景観や環境の保全に努めながら、新たな機能立地の活用と産業の振興を図るため、計画的な土地利用を推進します。

### 農業・集落エリア

本市の農業を支えるエリアとして、農業生産基盤と集落生活環境の維持向上を図るとともに、那須野ヶ原開拓の歴史を今に伝える景観の保全に努めます。

また、農業・農村が有する地域資源を活用した都市農村交流型農業の展開など、農村地域の活性化に配慮した土地利用を推進します。

### 山間・観光エリア

山間部は、国立公園や自然環境保全地域、保安林等に指定されている地域であることから、関係法令等の適切な運用により豊かな自然環境の保全に努めます。

また、塩原と板室の温泉観光地では、自然との共生を基調としながら、やすらぎを求める人々が集う空間の創出と機能の充実を図り、地域の特性を活かした観光拠点の形成に努めます。

## 5 まちづくりの基本理念

本市は、まちづくりの主体である市民と行政の協働を推進し、自立した行財政運営のもとで、だれもが安全に安心して暮らし、一人ひとりの個性と地域の特性が輝くまちづくりを推進します。

### 基本理念《4つのキーワード》

- 1** 市民との協働によるまちづくり  
まちづくりの主役である市民と行政が、ともに力を合わせて進める協働のまちづくりを推進します。
- 2** 効率的・効果的な行財政運営による自立したまちづくり  
効率的・効果的な行財政運営により、地方分権・住民自治の時代に対応できる自立したまちづくりを推進します。
- 3** 安全に、安心して暮らせるまちづくり  
防災・防犯体制の強化や日常の暮らしを支える社会資本の整備、保健福祉対策の充実により、安全に、安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- 4** 個性が輝くまちづくり  
豊かな自然環境や多彩な産業などの地域資源の有効活用と、市民一人ひとりがいきいきと暮らせる地域社会の形成を図り、個性が輝くまちづくりを推進します。

## 6 那須塩原市の将来像

本市には、広大な那須野ヶ原に育まれた緑と那珂川、箒川の清らかな流れに代表される美しく豊かな自然があります。

わたしたち市民一人一人は、このあふれる緑や自然を大切にしながら、安心して暮らすことができ、夢や希望をもって「やすらぎ」を感じることができるまちを目指すために、那須塩原市の将来像を「人と自然がふれあう やすらぎのまち 那須塩原」とします。

那須塩原市の将来像

人と自然がふれあう

やすらぎのまち

那須塩原



# 7 まちづくりの大綱

## まちづくりの基本理念

- 市民との協働によるまちづくり
- 効率的・効果的な行財政運営による自立したまちづくり
- 安全に、安心して暮らせるまちづくり
- 個性が輝くまちづくり

将来像

人と自然がふれあう やすらぎのまち 那須塩原

## 基本政策

## 基本施策

1 自然と共生するまちづくり

- 自然環境の保全・活用
- 清潔で美しい地域づくり
- 地球環境の保全
- 計画的な土地利用の推進

2 快適で潤いのあるまちづくり

- 安全に暮らせる地域づくり
- 消費生活の安定・向上
- 公共交通網と交通安全対策の充実
- 姉妹都市交流・国際交流の推進
- 男女共同参画の推進
- 安心安全な水の供給

3 健やかに安心して暮らせるまちづくり

- 地域福祉の充実
- 障害者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 児童福祉の充実
- 保健・医療の充実
- 保険・保障制度の充実

4 安全で便利なまちづくり

- 計画的な市街地の形成
- 憩いの空間づくり
- 良好な住宅地・居住空間の形成
- 安心して活動できる空間づくり
- 体系的な道路網の整備
- 雨水排水対策の推進
- 効率的・効果的な下水道の整備

5 活力を創出するまちづくり

- 農林業の振興
- 畜産業の振興
- 商業・サービス業の振興
- 工業の振興
- 観光の振興
- 雇用・就労環境の充実
- 中心市街地の活性化

6 豊かな心と文化を育むまちづくり

- 生涯学習の推進
- 学校教育の充実
- 芸術・文化活動の振興
- 生涯スポーツの振興
- 青少年の健全育成

7 創意と協働によるまちづくり

- 効率的・効果的な行財政運営の推進
- 市民との協働による地域づくり
- 地域情報化の推進

## 8 計画の推進に向けて

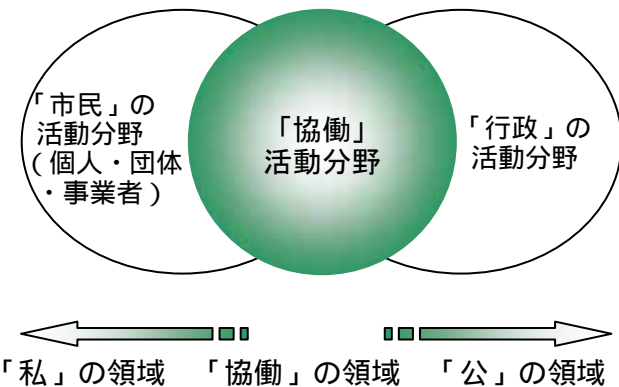
社会経済情勢の変化は、これまで個人の私的な活動が展開されてきた領域と、行政が担ってきた公共の領域の範囲に変化を及ぼし、これらが互いに重なり合う領域が拡大しています。

こうした中で本計画を推進していくためには、行財政運営のさらなる合理化や地方分権などの時代の潮流を、的確かつ迅速に捉えた措置を講じることはもちろんのこと、まちづくりに対する市民の積極的な参画が必要不可欠です。

本市は、まちづくりの主体である市民との協働を基本姿勢として、相互理解と適切な役割分担のもとで各種施策を展開し、将来像の実現を目指します。

### ～ 協働に向けた役割分担 ～

#### 「協働」のイメージ



市民が自己の責任において独自に行う領域	行政の協力を得ながら、市民が主体性をもって行う領域	市民と行政がそれぞれの主体性のもとに協力して行う領域	市民の参画や協力を得ながら、行政が主体性をもって行う領域	行政が自己の責任において独自に行う領域
---------------------	---------------------------	----------------------------	------------------------------	---------------------



#### (1) 市民の役割

一人ひとりがまちづくりの主体であることを認識し、自分たちの周囲のことに興味を持つとともに、地域社会の一員として市民相互の交流を図りながら、培ってきた技術や経験を活かし、自ら考え積極的に行動します。

#### (2) 団体の役割

生活に密着した地域組織や特定の分野で公益活動を行う団体は、それぞれが有する特性や専門性、蓄積してきた経験を活かし、課題解決や目的達成に向けた積極的な活動を展開します。

また、活動情報の発信や他団体とのネットワークの構築に努め、市民や団体との相互理解を深めながら、それぞれの活動のさらなる活性化を推進します。

#### (3) 事業者の役割

地域社会の一員として、自らが積極的にまちづくり活動に参加するとともに、情報や技術、資金などの提供を通して、地域や団体の活動を支援します。

また、事業所内の休暇制度などの充実に努め、従業員がボランティアなどの公益活動に参加しやすい環境の整備を図ります。

#### (4) 行政の役割

各種計画やまちづくりに関する情報の提供、計画の策定や事業への市民などの参加機会の拡充などを積極的に進め、様々な活動主体との信頼関係を構築し、それぞれの特性や能力を発揮できる環境の整備を図ります。

また、市民を対象とした各種講座や講演会、職員への研修などを実施し、協働の担い手となる人材の育成・確保、協働意識の醸成を図ります。



# 基本計画

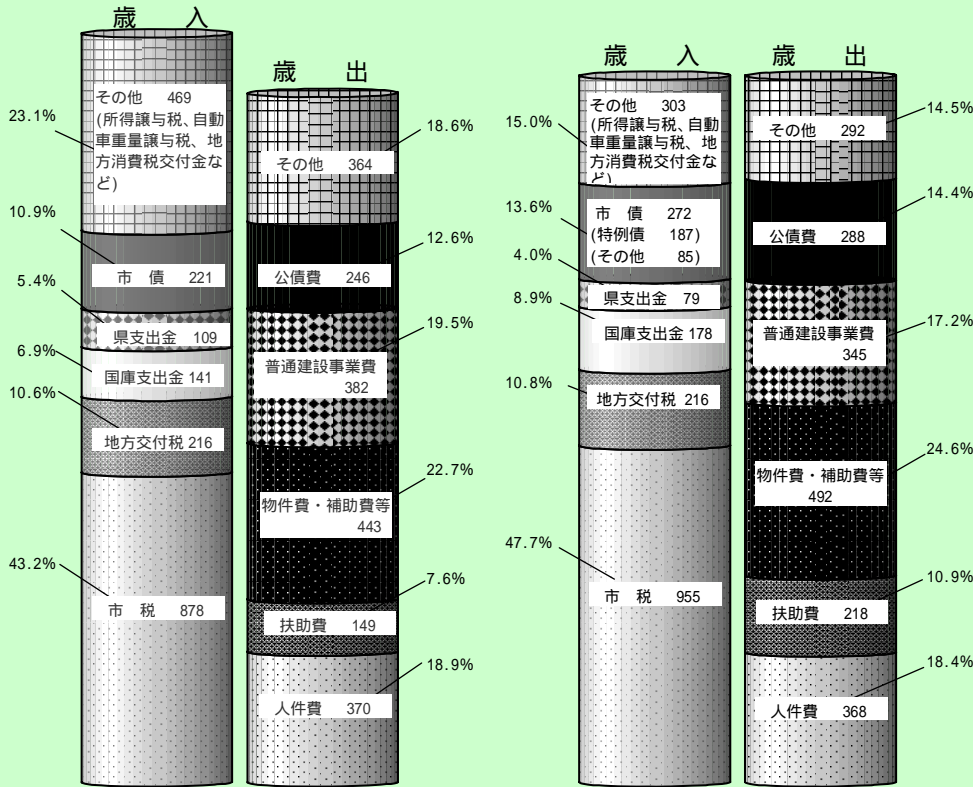
## □ 財政フレーム

### ■ 基本計画期間（平成 19～23 年度）の財政見通し

（単位：億円）

平成 13～17 年度

平成 19～23 年度



平成 19～23 年度 総額 2千003 億円

（参考）平成 13～17 年度

歳入 2千034 億円

歳出 1千954 億円

### 積算根拠

#### (1) 歳入

##### ① 市税

現行の税制度やこれまでの実績に加えて、今後の経済状況を予測・勘案して算定しています。

##### ② 地方交付税

普通交付税は、現行の制度を基本として、これまでの実績などを勘案して算定しています。

また、特別交付税には、平成 19 年度に限り市町村合併分を加算して算定しています。

##### ③ 国庫支出金・県支出金

現行の制度を基本として、これまでの実績などを勘案して算定しています。

##### ④ 市債

後年度の地方債残高が現在の水準を上回らないように配慮するとともに、元利償還金が交付税によって措置される合併特別債を優先して見込んでいます。

#### (2) 歳出

##### ① 人件費

定員適正化計画の削減目標値に基づき、算定しています。

##### ② 扶助費

現行の制度を基本として、これまでの実績などを勘案して算定しています。

##### ③ 物件費・補助費等

現在と同じ水準で算定しています。

##### ④ 普通建設事業費

基本計画に計上してある主要事業を基本として算定しています。

※ 国の三位一体改革をはじめとする制度改革にともなう影響については、実施計画（財政計画）のなかで精査し修正を加えていきます。

#### 公債費 ……

地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金。

#### 普通建設事業費 ……

道路や学校などの公共施設の建設費。

#### 物件費 ……

委託料や使用料、光熱水費など。

#### 補助費等 ……

負担金、補助金など。

#### 扶助費 ……

生活保護費やこども医療(助成)費など。

#### 人件費 ……

職員給与、議員報酬、各種委員報酬など。

# I 自然と共生するまちづくり

## 1 自然環境の保全・活用

### 目指すべき方向と施策

...目指すべき方向  
...施策

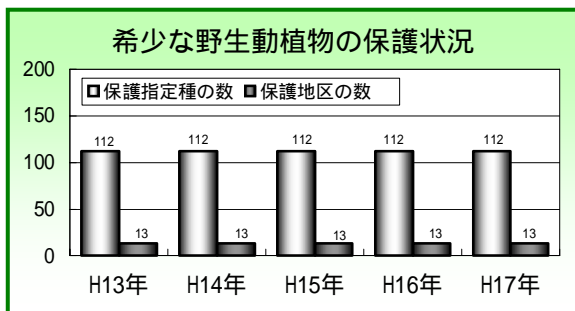
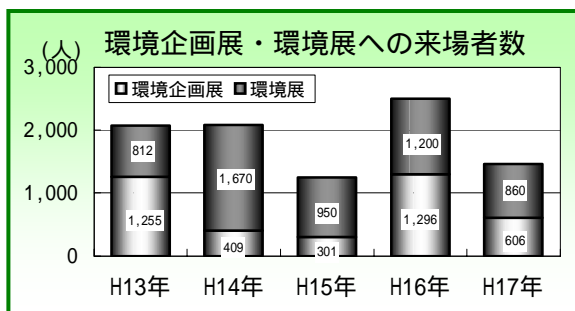
- 計画的な自然環境の保全
  - 自然環境保全のための基本指針の策定とその推進
- 保全意識の高揚
  - 環境学習の推進
  - 環境情報の提供
- 動植物の保護
  - 希少な野生動植物の保護

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
観察会などの開催回数	3回	5回
環境企画展や環境展などへの来場者数	1,500	2,000
動植物実態調査の調査日数	110人	120人
希少な野生動植物の保護地区数	13箇所	20箇所

### 主要事業

事業名	計画期間
観察会などの開催	期間中継続
環境企画展や環境展などの開催	期間中継続
動植物実態調査の実施	期間中継続
保護地区の指定、監視活動の実施	期間中継続



沼原湿原

## 2 清潔で美しい地域づくり

### 目指すべき方向と施策

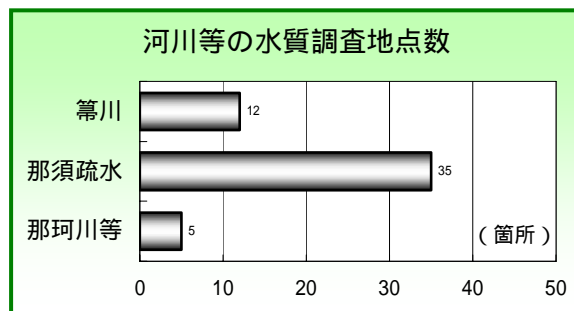
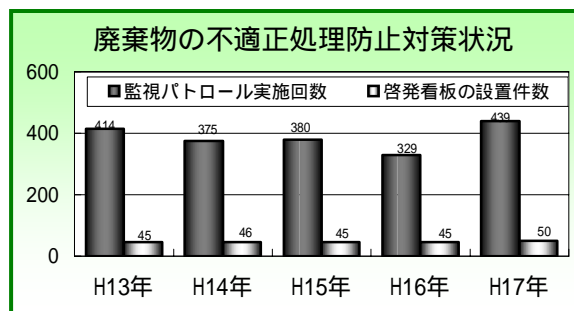
- 廃棄物の不適正処理の防止
  - 監視体制の強化
  - 適正処理の促進
- 公害の防止
  - 定期的な調査の実施
  - 監視と指導の強化

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
不法投棄などに関する苦情・相談処理件数	183件	137件
環境基準(BOD)の達成率( 箒川2箇所)	100%	100%
環境基準(BOD)の達成率( 那珂川4箇所)	92%	100%

### 主要事業

事業名	計画期間
不法投棄防止事業	期間中継続
河川・地下水等の水質調査	期間中継続



市内一斉美化運動

### 3 地球環境の保全

#### 目指すべき方向と施策

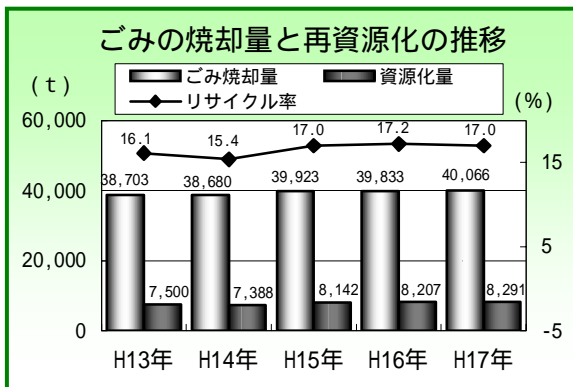
- ごみの減量
  - ごみ減量への意識啓発
  - ごみの減量化・資源化
  - 第2期広域ごみ処理施設の建設
- 地球温暖化の防止
  - 省エネルギー対策の推進
  - 新エネルギー導入の検討
  - 市内事業所の地球温暖化防止行動の促進

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
ごみのリサイクル率	16.9%	24.0%
事業所等の顕彰件数	0社	10社
1日1人当たりごみ排出量	1,152g	1,080g

#### 主要事業

事業名	計画期間
家庭ごみの有料化検討	19年度
ごみの減量化・資源化対策事業	20～23年度
ごみ処理施設建設事業(広域第2期ごみ処理施設整備事業)	19～20年度
事業所等の環境行動への顕彰	期間中継続



### 4 計画的な土地利用の推進

#### 目指すべき方向と施策

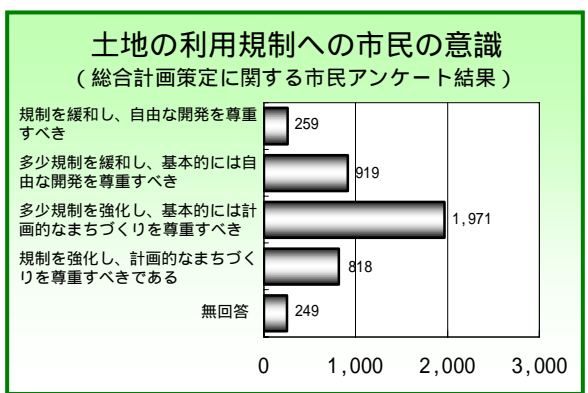
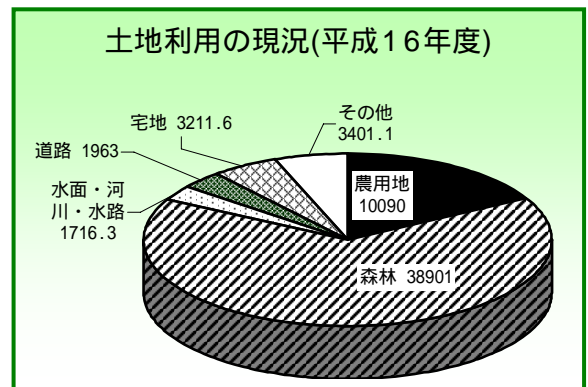
- 土地利用の適切な規制と誘導
- 地域特性に応じた土地利用の推進
- 総合的な土地利用施策の展開
- 土地利用調整機能の充実

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
農用地面積	10,090ha	9,900ha
宅地面積	3,211ha	3,360ha
森林面積	38,901ha	38,700ha

#### 主要事業

事業名	計画期間
土地利用の適切な規制と誘導	期間中継続
国土利用計画・土地利用調整基本計画の運用	期間中継続



# II 快適で潤いのあるまちづくり

## 1 安全に暮らせる地域づくり

### 目指すべき方向と施策

...目指すべき方向  
...施策

- 消防力の充実・強化
  - 消防施設や車両の充実
  - 消防団の充実・強化
- 災害対策の強化
  - 地域防災計画の周知徹底
  - 自主防災組織の組織化支援
  - 広報活動の推進
- 防犯対策の推進
  - 防犯意識の啓発・高揚
  - 地域主体の防犯活動の促進

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
消防団員数	1,339人	1,350人
犯罪の認知件数	31団体	45団体
自主防災組織数	1,919件	1,820件
防犯団体数	14団体	50団体

### 主要事業

事業名	計画期間
消防力の充実・強化	期間中継続
自主防災組織の組織化支援	期間中継続
防犯対策事業	期間中継続
自主防犯団体の設立促進・支援	期間中継続



消防訓練

## 2 消費生活の安定・向上

### 目指すべき方向と施策

- 消費者教育の推進
  - 消費者教育の充実
- 消費者団体等の育成
  - 消費者団体の育成・支援
  - 消費者リーダーの養成
- 消費者相談体制の充実
  - 相談体制の充実

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
那須塩原市消費生活推進連絡会 構成団体	9団体	11団体
消費者出前講座回数	12回	15回

### 主要事業

事業名	計画期間
消費者団体の育成支援	期間中継続
消費生活センターの充実	期間中継続



消費生活センター

## 3 公共交通網と交通安全対策の充実

### 目指すべき方向と施策

- 公共交通網の充実
  - 生活バス路線の充実
- 交通安全対策の充実
  - 交通安全意識の高揚
  - 交通安全施設の整備
  - 駐車場・駐輪場の充実

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
交通事故(人身事故)の発生件数	769件	730件
交通事故(物件事故)の発生件数	3,893件	3,698件
市営バスの利用者数	61,152人	75,000人
市営バスの運行路線数	6路線	7路線

### 主要事業

事業名	計画期間
交通安全対策事業	期間中継続
市営バス路線の評価・検討	期間中継続



交通安全運動 スーパー店頭における啓発

## 4 姉妹都市交流・国際交流の推進

### 目指すべき方向と施策

姉妹都市交流の促進  
 姉妹都市交流の拡充  
 国際交流の促進  
 外国人も暮らしやすい地域づくり  
 国際交流協会への支援

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
日本語指導者養成講座の受講者数	103人	220人

### 主要事業

事業名	計画期間
姉妹都市との市民交流促進	期間中継続
国際交流協会への支援	期間中継続



イングリッシュキャンプ

## 5 男女共同参画の推進

### 目指すべき方向と施策

男女共同参画社会の実現  
 男女共同参画行動計画の推進  
 男女共同参画への意識啓発  
 市の政策決定過程への女性の参画促進  
 人材の育成と団体への支援

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
男女の地位が平等になったと感じる市民の割合	15.60%	20%
審議会などの委員に占める女性委員の割合	26.20%	30%

### 主要事業

事業名	計画期間
男女共同参画推進事業	期間中継続



女性模擬議会

## 6 安心安全な水の供給

### 目指すべき方向と施策

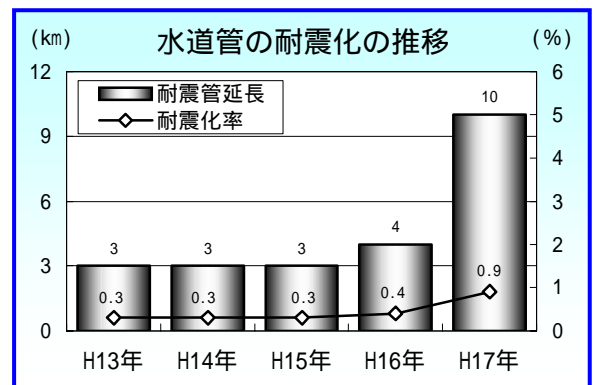
健全な経営  
 経営基盤の強化  
 サービスの向上  
 安定した配・給水の確保  
 水質管理体制の強化  
 施設整備の推進  
 未給水地域の解消  
 危機管理対策の強化  
 耐震化の推進  
 施設管理体制の強化

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
水道管耐震化率（耐震管の延長 / 水道管の総延長）	0.9%	8.3%
市管理給水管の破損、漏水件数	300件	180件

### 主要事業

事業名	計画期間
水道施設改良事業	期間中継続
水道危機管理対策事業	期間中継続
水道配水施設整備事業	20～22年度



# Ⅲ 健やかに安心して暮らせるまちづくり

## 1 地域福祉の充実

### 目指すべき方向と施策

...目指すべき方向  
...施策

市民主体の地域福祉の推進  
地域福祉の推進  
地域福祉活動への市民の参加促進  
尊厳を持って共に生きる社会づくり  
権利擁護の充実  
相談・支援体制の整備  
地域福祉活動の担い手となる人材の育成  
ボランティアの充実  
福祉教育の推進

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
ボランティア登録数(個人)	286人	300人
地域福祉権利擁護事業利用者数	30人	100人
ボランティア登録数(団体)	73団体	90団体
	1,437人	1,500人

### 主要事業

事業名	計画期間
社会福祉協議会の地域福祉活動への支援	期間中継続
行政と市民、事業者、ボランティアとのネットワークづくり	21~23年度



あったかハート号

## 2 障害者福祉の充実

### 目指すべき方向と施策

自己決定・自己選択の支援  
障害種別を超えた福祉サービスの一元化  
利用者への支援体制の充実  
ケアマネジメント体制の充実  
障害者の社会参加の促進  
就労の促進  
地域交流の促進  
コミュニケーション体制の充実  
地域生活支援体制の充実  
在宅サービスの充実  
日常生活用具・補装具等の充実

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
在宅で各種介護給(身体障害)	47人	70人
付サービスを利用(知的障害)	104人	150人
している障害者数(精神障害)	10人	20人
(児童)	131人	150人
障害者就労支援施(知的障害)	85人	105人
設の定員数(精神障害)	19人	20人
障害者地域活動支援センターの 利用者数	46人	58人

### 主要事業

事業名	計画期間
障害者相談支援事業	期間中継続
障害者地域活動支援センターの整備・充実	期間中継続
就労の促進	期間中継続

## 3 高齢者福祉の充実

### 目指すべき方向と施策

生きがいづくりの推進  
生きがいづくりの推進  
社会参加の促進  
就業機会の拡充  
総合的な介護予防システムの確立  
自立対策・生活支援の充実  
地域包括ケアシステムの充実

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
シルバー人材センターの登録者数	827人	920人
元気アップデイサービスセンター の設置数	15箇所	18箇所

### 主要事業

事業名	計画期間
高齢者の知識と経験を地域に還元させる 仕組みづくり	期間中継続
地域包括ケアシステムの充実	期間中継続



元気アップデイサービス

## 4 児童福祉の充実

### 目指すべき方向と施策

子育て環境の充実  
 保育環境の充実  
 保育園への民間活力導入  
 放課後児童対策の充実  
 子育て支援体制の充実  
 要保護児童への支援  
 子育て相談・支援体制の充実  
 ひとり親家庭の福祉の充実  
 相談体制の充実・強化  
 自立支援の充実

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
子育てサロン開催箇所数	8箇所	20箇所
放課後児童クラブ数	21箇所	24箇所
子育て相談センターホームページ年間アクセス数	0件	24万件

### 主要事業

事業名	計画期間
ファミリーサポートセンター事業	21～23年度
保育園の民営化	期間中継続
放課後児童対策事業	期間中継続

## 5 保健・医療の充実

### 目指すべき方向と施策

健康づくりの推進  
 健康づくりの啓発  
 地域主体の健康づくりの推進  
 若年期からの健康づくりの推進  
 保健・医療サービスの充実  
 母子保健の充実  
 生活習慣病対策の推進  
 感染症予防対策の推進  
 救急医療体制の充実

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
基本健康診査の受診率	46.2%	60.0%
地域主体の健康づくり実践活動地区数	0地区	7地区

### 主要事業

事業名	計画期間
生活習慣病対策事業	期間中継続
こども医療費助成事業	期間中継続
地域主体の健康づくり推進事業	20～23年度



乳幼児健診（2歳児歯科検診）

## 6 保険・保障制度の充実

### (1) 国民健康保険制度の充実と運営の効率化

#### 目指すべき方向と施策

保健事業の推進  
 予防対策の推進  
 健康づくりの推進  
 保険財政の健全化  
 保険税の適正賦課  
 医療費の適正化  
 収納率の向上

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
医療給付費	66.2億円	75.2億円
保険税収納率(現年度分)	84.1%	86.6%

#### 主要事業

事業名	計画期間
保健事業	期間中継続
収納率向上対策事業	期間中継続

### (2) 介護保険制度の充実と運営の効率化

#### 目指すべき方向と施策

介護保険サービスの充実  
 制度の周知  
 計画的なサービス基盤の整備  
 適正な要介護認定  
 サービスの質の管理  
 給付の適正化  
 保険財政の健全化  
 適正な保険料の決定と徴収

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
要支援・要介護者の割合	14.31%	16.82%
保険料収納率(現年度分)	97.4%	98.9%

#### 主要事業

事業名	計画期間
介護予防事業	期間中継続
地域密着型サービスの基盤整備	期間中継続

### (3) 生活相談体制の充実と生活保護制度の的確な運用

#### 目指すべき方向と施策

福祉全般に関する総合相談窓口の充実  
 専門面接相談員の設置  
 生活保護制度の的確な運用  
 資格審査の徹底  
 就労支援の推進

#### 主要事業

事業名	計画期間
生活保護施行事務適正実施推進事業	期間中継続

# IV 安全で便利なまちづくり

## 1 計画的な市街地の形成

### 目指すべき方向と施策

- ...目指すべき方向  
...施策
- 新しい市街地の指針づくり
    - 都市計画マスタープランの策定
  - 計画的な市街地の整備
    - 土地区画整理事業の推進
    - 市街地内の都市計画道路の整備
  - 良好な景観づくり
    - 景観保護の指針策定
    - 市民の景観意識の醸成

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
那須塩原駅北土地区画整理事業進捗率	50.8%	100%
都市計画道路の整備率	45.7%	50.0%

### 主要事業

事業名	計画期間
都市計画マスタープランの策定	19~20年度
那須塩原駅北土地区画整理事業	期間中継続
3・4・1本郷通り道路改良事業	19~22年度
景観計画の策定	19~20年度



那須塩原駅周辺の土地区画整理事業



那珂川河畔公園

## 3 良好な住宅地・居住空間の形成

### 目指すべき方向と施策

- 良好な住環境づくり
  - 開発行為に対する指導
- 市営住宅の適正管理
  - 老朽化市営住宅の取壊し
  - 市営住宅の適切な維持・管理
- 民間住宅への支援
  - 住宅の耐震化
  - 住宅のバリアフリー化

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
老朽化した市営住宅の整理戸数	3戸	100戸

### 主要事業

事業名	計画期間
開発行為事務推進事業	期間中継続
老朽化市営住宅解体事業	期間中継続
住宅の耐震化支援事業	期間中継続
住宅のバリアフリー化支援事業	期間中継続



市営稲村住宅

## 2 憩いの空間づくり

### 目指すべき方向と施策

- 公園や水辺の適正な管理
  - 公園愛護団体や河川愛護団体への支援
- 都市公園の充実
  - 老朽化した公園施設の更新
  - 公園機能の充実
- 市街地エリア内の緑化の推進
  - 市民と連携した緑化の推進

### 主要事業

事業名	計画期間
東那須野公園の施設拡充	21年度
那珂川河畔公園プール整備事業	20~21年度
公園・河川愛護団体への支援	期間中継続



## 4 安心して活動できる空間づくり

### 目指すべき方向と施策

バリアフリー化の推進  
施設のバリアフリー化  
道路や広場のバリアフリー化

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
西那須野駅のエレベーター設置箇所	0箇所	4箇所
ひとにやさしいまちづくり県条例適合建築件数	45件	120件

### 主要事業

事業名	計画期間
西那須野駅周辺地区のバリアフリー化	19～21年度
ひとにやさしいまちづくり県条例適合確認	期間中継続



バリアフリー施設(西那須野公民館)

## 6 雨水排水対策の推進

### 目指すべき方向と施策

雨水排水対策の推進  
河川整備の促進  
下水道雨水幹線等の整備

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
普通河川の整備率	41.2%	43.3%
雨水幹線の整備率	4.0%	32.0%
雨水幹線整備面積	387.8ha	400.7ha

### 主要事業

事業名	計画期間
南郷屋堀改修事業	19年度
雨水幹線整備事業	期間中継続
下水道雨水幹線の整備	期間中継続



雨水管理設工事

## 5 体系的な道路網の整備

### 目指すべき方向と施策

計画的な道路整備の推進  
道路整備基本計画に基づく整備  
主要道路網の確立  
広域幹線道路の整備  
市街地の骨格を形成する道路の整備  
インターチェンジの整備促進と周辺道路の整備  
インターチェンジの整備促進と周辺道路の整備  
生活道路の整備・充実  
生活道路の整備  
交差点の改良  
道路管理の充実  
道路維持管理の強化  
道路環境の保全・向上

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
道路改良率	58.8%	59.8%
舗装整備率	70.4%	72.2%

### 主要事業

事業名	計画期間
(仮称)黒磯インター整備関連事業	19～21年度
新南下中野線道路新設改良事業	期間中継続
幹 - 3号線道路新設改良事業	19～21年度
埼玉鳥野目線道路新設改良事業	期間中継続

## 7 効率的・効果的な下水道の整備

### 目指すべき方向と施策

下水道の整備  
総合的な生活排水対策の推進  
水洗化の普及・促進  
施設の維持補修

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
公共下水道の普及率	51.2%	52.9%
公共下水道の水洗化率	85.8%	87.5%
合併処理浄化槽の普及率	9.9%	15.6%

### 主要事業

事業名	計画期間
公共下水道の整備	期間中継続
水洗化の普及・促進	期間中継続
合併処理浄化槽の普及・促進	期間中継続
水処理施設の改修	期間中継続

# V 活力を創出するまちづくり

## 1 農林業の振興

### (1) 農業の振興

#### 目指すべき方向と施策

元気で美しい農村づくり  
個性を生かした農村づくり  
豊かな環境を育む農村づくり  
意欲ある農業者づくり  
農業を支える担い手づくり  
新規就農者の育成・支援  
生産を支える土づくり  
農地の効率的利用  
農業生産の基盤づくり  
安全・安心・安定した食づくり  
安定した農業生産の推進  
地産地消の推進  
食育の推進

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
認定農業者の数	549人	640人
遊休農地面積	22.32ha	14ha
農業産出額	277億円	295億円
農産物直売所の売上高	522.1百万円	600百万円
	(13~17年度 の合計)	(19~23年 度の合計)
農道整備延長	19,152m	21,000m
農業用排水路整備延長	2,015m	26,000m

#### 主要事業

事業名	計画期間
夏秋どりイチゴ生産事業	期間中継続
新規就農支援事業	期間中継続
地産地消振興事業	期間中継続
農村振興総合整備事業	期間中継続
村づくり交付金事業	期間中継続
農業経営基盤強化促進対策事業	期間中継続

### (2) 森林の保全

#### 目指すべき方向と施策

森林の保全  
森林資源の保全管理  
林道の適正な管理

#### 成果指標

	(16年度)	(23年度)
森林面積	38,901ha	38,700ha

#### 主要事業

事業名	計画期間
松くい虫防除事業	期間中継続

## 2 畜産業の振興

#### 目指すべき方向と施策

畜産業の振興  
自給飼料の確保  
家畜の改良・増殖  
資源循環型農業の推進  
作業の効率化・低コスト化  
畜産振興対策の推進

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
家畜飼養頭数(乳用牛・肉用牛)	27,930頭	29,400頭
飼料作付面積	2,180ha	2,320ha

#### 主要事業

事業名	計画期間
畜産基盤再編総合整備事業	期間中継続
堆肥センター管理運営事業	期間中継続



## 3 商業・サービス業の振興

#### 目指すべき方向と施策

経営基盤の強化  
関係機関との連携  
人材の育成  
制度融資の充実  
商店街の活性化  
個性ある商店街の形成

#### 成果指標

	(16年度)	(23年度)
商店数(小売業・卸売業)	1,396店	1,438店
年間販売額(小売業・卸売業)	2,100億円	2,163億円

#### 主要事業

事業名	計画期間
商工会支援事業	期間中継続
中小企業融資預託事業	期間中継続
商店街活性化支援事業	期間中継続

## 4 工業の振興

### 目指すべき方向と施策

積極的な企業誘致  
 新規企業の立地促進  
 企業立地への支援  
 中小企業への支援  
 制度融資の充実

### 成果指標

	(16年度)	(23年度)
製造業の従業者数	10,854人	1,1180人
製造品出荷額	3,396億円	3,498億円
製造業事業所数	287事業所	296事業所

### 主要事業

事業名	計画期間
企業誘致事業	期間中継続

## 6 雇用・就労環境の充実

### 目指すべき方向と施策

雇用の促進  
 雇用対策の充実  
 事業者への安定雇用支援  
 勤労者福祉の充実  
 融資制度の充実  
 福利厚生事業の充実

### 成果指標

	(16年度)	(23年度)
市内の事業所への従業者数	45,999人	47,379人

### 主要事業

事業名	計画期間
勤労者住宅資金融資預託事業	期間中継続

## 5 観光の振興

### 目指すべき方向と施策

観光基盤の充実  
 観光拠点の整備  
 観光ネットワークの整備  
 観光誘客の推進  
 受け入れ態勢の整備  
 関係団体との連携・協働の推進  
 観光情報の発信と提供

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
観光客宿泊数	118.6万人	140万人
観光客入込数	672.6万人	793万人

### 主要事業

事業名	計画期間
観光拠点施設整備事業	期間中継続
観光誘客推進事業	期間中継続



もみじ谷大吊橋

那須野巻狩まつり

## 7 中心市街地の活性化

### 目指すべき方向と施策

商業等の活性化  
 街なかの賑わいの創出  
 中心市街地の核の形成  
 商店街の魅力づくり  
 経営基盤の強化  
 中心市街地の整備  
 西那須野地区中心市街地の面的整備

### 成果指標

	(16年度)	(23年度)
黒磯地区中心市街地地区内の空き店舗数	76店	68店
西那須野中心市街地地区内の空き店舗数	67店	60店

### 主要事業

事業名	計画期間
西那須野地区中心市街地再開発事業	19～21年度
西那須野駅西口広場整備事業	19～21年度
中央通り整備事業	19～21年度
活性化のためのイベント支援	19～21年度
まちづくり活動の支援	19～21年度



西那須野駅前イメージ図

# VI 豊かな心と文化を育むまちづくり

## 1 生涯学習の推進

### 目指すべき方向と施策

...目指すべき方向  
...施策

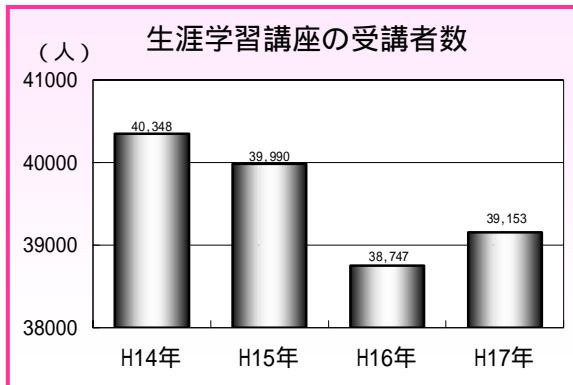
生涯学習の推進  
推進体制の充実  
施設や設備の整備・充実  
相談体制の充実  
学習成果の活用  
学習機会の充実  
学習情報の提供

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
生涯学習施設の利用者数	59.7万人	65.2万人
市民1人当りの図書館蔵書数	4冊	4.2冊
生涯学習講座の開催数	1,731回	1,800回
生涯学習講座の受講者数	39,153人	40,000人
生涯学習ボランティア数	70人	200人

### 主要事業

事業名	計画期間
学社連携融合事業	期間中継続
生涯学習環境の整備	期間中継続
ボランティアネットワークの整備	20～23年度



宇都宮共和大学 市民開放講座



図書館

## 2 学校教育の充実

### 目指すべき方向と施策

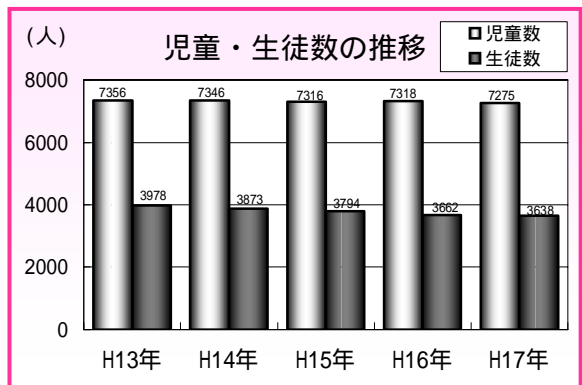
人づくり教育の推進  
学力・体力の向上  
社会力の育成  
豊かな心の育成  
児童・生徒指導の充実  
特別支援教育の推進  
中学校区ごとの小中学校連携の推進  
学校施設・設備の整備  
学校施設・設備の整備  
学校規模の適正化  
幼児教育の充実  
幼児教育の支援

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
小・中連携の中学校数	2校	10校
不登校児童生徒数	198人	90人
耐震診断対象棟数	89棟	0棟

### 主要事業

事業名	計画期間
学力向上連携事業	19～21年度
適応指導教室の運営	期間中継続
教育相談員・スクールカウンセラー配置事業	期間中継続
校舎・体育館などの耐震診断・補強工事	期間中継続
学校規模の適正化事業	19～20年度
中学生海外派遣事業	期間中継続
中学校区ごとの小中学校連携	期間中継続
教育体験研修センター施設整備事業	19～20年度



### 3 芸術・文化活動の振興

#### 目指すべき方向と施策

地域に根ざした芸術・文化活動の推進  
 芸術・文化事業の充実  
 団体の育成・強化  
 芸術・文化環境の充実  
 文化財の保護・活用  
 文化財の保存・活用

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
市内の文化施設を一年間に利用した延べ人数	92,760人	▶ 100,000人
指定文化財の数	158件	▶ 170件
埋蔵文化財の数	66件	▶ 80件

#### 主要事業

事業名	計画期間
文化振興事業	期間中継続
埋蔵文化財包蔵地調査事業	20～23年度
古文書のマイクロフィルム撮影	期間中継続



那須野が原博物館



関谷城鉦舞

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
スポーツ施設の利用者数	534,382人	▶ 550,000人
学校開放施設の利用者数	124,469人	▶ 126,000人

#### 主要事業

事業名	計画期間
スポーツ振興基本計画策定	20年度
那珂川河畔公園プール整備事業	20～21年度
総合型地域スポーツクラブの設立・活動支援	期間中継続



### 5 青少年の健全育成

#### 目指すべき方向と施策

青少年の健全育成  
 推進体制の整備  
 家庭教育の充実  
 地域ぐるみの取り組みの推進  
 青少年活動の充実  
 関係団体への支援  
 健全育成の環境づくり

#### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
青少年関連事業数	152事業	▶ 170事業
青少年関連事業参加者数	3,060人	▶ 3,400人
青少年の街頭補導者数	325人	▶ 225人

#### 主要事業

事業名	計画期間
青少年プランの策定	19～20年度
青少年健全育成推進体制の整備・充実	21～23年度



成人式

### 4 生涯スポーツの振興

#### 目指すべき方向と施策

スポーツを楽しむ環境づくり  
 スポーツ団体の育成・支援  
 指導員の育成・強化  
 スポーツ施設の整備  
 学校施設などの有効活用  
 スポーツイベントの開催と誘致

# VII 創意と協働によるまちづくり

## 1 効率的・効果的な行財政運営の推進

### 目指すべき方向と施策

...目指すべき方向  
...施策

- 計画的な行政運営
  - 計画行政の推進
  - 行政評価システムの活用
- 行政の効率化
  - 集中行財政改革プランの推進
  - 民間活力の活用
  - 組織機構の見直し
  - 新庁舎建設の検討
  - 人材の育成と活用
- 財政の健全化
  - 財政の健全化
  - 税収の確保

### 成果指標

	(17年度)	(21年度)
集中行財政改革プランに基づき 改革改善する事務事業数	14事業	81事業
市税収納率(現年度分)	95.7%	97.9%

### 主要事業

事業名	計画期間
行政評価システム導入	20年度
集中行財政改革プランの推進	19～21年度
収納率向上対策事業	期間中継続



## 2 市民との協働による地域づくり

### 目指すべき方向と施策

- 情報提供の拡充
  - 広報活動の充実
  - 情報の適切な公開
- 市民主体の地域づくり
  - 市民参加の拡充
  - 自治活動の促進
  - 市民の意見の市政への反映
- 協働のまちづくり
  - 協働のまちづくり
  - 一体感の醸成

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
「広報・ホームページ」の満足度(満足とやや満足の割合の合計)	17.1%	20%
「車座談議」の実施地域数	0地域	15地域

### 主要事業

事業名	計画期間
広報モニター制度の導入	19年度
車座談議の開催	期間中継続



車座談議

## 3 地域情報化の推進

### 目指すべき方向と施策

- 便利な電子市役所づくり
- 市民との情報の共有化
- 行政手続きのオンライン化
- セキュリティ対策の充実
- 新たなメディアの利活用
- 安全な情報環境の整備
- 情報化社会の基盤づくり
- デジタルデバイドの解消
- 情報技術の安全な利用

### 成果指標

	(17年度)	(23年度)
市ホームページへのアクセス数	約5万件	約8万件
インターネットによる申請などの 行政手続きの種類	0種類	30種類
市内のブロードバンド(光)カバー率	60%	90%
情報リテラシーを向上するための NPO法人等の数	0団体	3団体

### 主要事業

事業名	計画期間
緊急情報提供システム整備事業	19～20年度
行政手続きのオンライン化事業	20～23年度
公共ネットワーク整備事業	19～20年度

# まちづくり次世代ワークショップ



総合計画の策定にあたって、将来を担う若者の意見を計画づくりの参考とするためにワークショップを開催しました。

このワークショップには、市内10校の中学生40名が、7つのテーマについて3日間、市政や施策などの現状と課題や、理想とするまち、課題の解決策などについて討議を行い、8月20日(日)に研究成果が発表されました。



国指定重要文化財 旧青木家那須別邸



国指定天然記念物 逆杉



国指定重要文化財  
那須疏水旧取水施設(東水門)



市指定天然記念物 大山参道のモミジ並木

## 市章



那須の頭文字Nと塩原の頭文字Sをモチーフに、山や川など自然豊かな那須野が原の大地を表現しています。Sの曲線がNの直線に絡まるように描き、人と自然がふれあう様子を、Sが横たわっているように描くことによりやすらぎを表現しています。オレンジ色の円は、那須塩原市の明るい未来を表し、1市2町の人々がひとつになって未来に向かって突き進む様子を表現しています。

## 市の木 まつ



マツ科の針葉樹。「百木の長」や「木の王」などといわれる常盤木(常緑樹)で長命な木です。

那須野が原の開墾前、まだこの地が「那須野の東原・西原」と呼ばれていた頃、人も住まない茫茫たる荒野のあちらこちらに松の巨木が自生していたと伝えられています。荒野に根を生やした力強い松の姿は、開拓者の目に力強く映ったのではないのでしょうか。

現在も市全域に自生し、自然景観を豊かにしています。

幹は天上にそびえ、樹肌は強健勇壮、枝は四方に勢いよく広がり、市民の融和と発展を表しています。

## 市の花 やしおつつじ



ツツジ科の落葉低木。花は直径5cmくらいで、淡紅色、白色、濃紅紫色があり、清らかな味わいのある美しい花をつけます。

那須・塩原をはじめ日光地域に多く生息し、観光客の目を和ませています。また、厳しい冬の寒さに耐え、春になると真っ先に花をつける姿から、県民性をあらわすとも言われ、栃木県花にも指定されています。

市では、山間部を中心に自生し、4月から5月にかけて山々を彩ります。特に渓谷のほとりや断崖に咲き誇る様子は春の訪れにふさわしく、市の豊かな自然を表しています。

# NASUSHIOBARA

平成19年度(2007) ▶▶平成28年度(2016)



那須塩原市  
Nasushiobara city

---

---

## 第1次那須塩原市総合計画 概要版

平成19年(2007年)3月

発行 那須塩原市  
<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/>

企画・編集 企画部 企画情報課  
〒325-8501 栃木県那須塩原市共壘社108-2  
TEL 0287-62-7106  
FAX 0287-62-7220  
E-mail: [kikakujouhou@city.nasushiobara.lg.jp](mailto:kikakujouhou@city.nasushiobara.lg.jp)

---

---